

平成 23 年度 とちぎ夢大地応援団 カレッジ活動「大木須」

第3回活動報告 H23・11・19(土)

最終回の3回目は、真岡北陵高等学校生 22 名(引率：青柳実習教諭)が参加しました。あいにく雨の中での作業となりましたが地元の方の指導を受けながら5アールの里芋ほり、川の中での芋洗い、そして蒸かし竹串に刺して「芋ぐし」を作る作業を行いました。

この芋ぐしは来週 27 日にオオムラサキ公園で開催されるソバ祭りで販売されます。

開会式で受入団体の堀江大木須むらづくり推進協会長の歓迎のあいさつをいただいた後、作業を始めました。



○ 里芋ほり

3本クワで芋株を掘り、泥だらけの芋を分別するのに悪戦苦闘しました。



はじめは なれない手つき



すぐに上手にできました



芋株から よい芋をとる





○ 芋洗い

木須川の中で、ドラムカンを改造した「芋洗い機」で、泥や皮を取り除きました。



芋洗い前

芋洗い後 こんなにきれいになります



○ 芋ふかし

芋に残った皮を丁寧に取り除き、ドラムカンで作ったカマドに大きな鍋をのせ、その上に3段に重ねた大きなセイロでふかしました。もちろん燃料は薪です。煙で目が痛いので咽せる作業でした。



○ 芋ぐしづくり

蒸かしあがった芋を竹ぐしにさします。1本に4個さして出来上がり。ただし大小の芋で三角形につくるのがミソでセンスが必要です。この後は冷凍して保存。27日に開催するソバ祭りにあわせて自然解凍し、当日は焼いて味噌だれをつけて販売します。全部で600本販売するそうです。



蒸かしたて 湯気の中で



三角形のよい形に刺します



出来上がった製品

○ 竹ぐしづくり

竹を50cm位の輪切りにし後、くしの太さに割ります。それから小刀で丁寧に角を取り丸くし、くしに仕上げます。あまり小刀を使ったことがないために、苦労しました。



○ 昔の芋洗い体験

ザクマタを使った芋洗いを体験。きれいに仕上がりました。



○ 昼食

メニューは「けんちゃんそば」。10月8日の第2回活動で収穫したソバで、今月27日に行われる「ソバまつり」に先立ち、新ソバを堪能しました。



○ 交流会

ひとりひとり感想やお礼の述べました。ほとんどの生徒が「家庭や学校では出来ない体験をさせていただきました。機会があったらまた来たいです。」とのことでした。大木須の方からは「立派な大人になって下さい」との励ましの言葉をいただきました。

